



幸せの教訓

レー ティ イエン
LE THI YEN

子供の時に、私のおばあさんはよく「あなたが皆に笑顔で親切にすれば、人もそのようにしてくれるよ。人に愛情をもらいたかったら、先に人に愛情をあげなさい。」と話してくれました。その言葉は私の教訓になりました。日本でもその教訓を心に持って、色々なことをやってみました。

日本へ来てから、社長のおかげで、日本の色々な文化が体験出来ました。地域のお祭りに出て、アオザイを着て、歌を歌ったりする機会がありました。1番印象に残っているのは敬老会で歌ったことです。歌を歌うのは簡単なことですが、おばあさんとおじいさんたちは喜んでくれて、私達の仕事やベトナムのことなどに興味を持って色々な質問をしてもらいました。皆さんの嬉しい顔を見て、私の心も暖かくなりました。それから、お祭りで会った近所のお茶の先生からお茶会に招待していただきました。日本文化を知るいいチャンスをいただいて、とても楽しみにしています。自分から積極的に地域の皆さんと交流する気持ちを持って参加すると、地域の皆さんも歓迎してくれました。

今年、盲腸になって日本の病院に入院しました。私は外国人ですが、病院の人達にとってもお世話になりました。初めて手術をして、心配することがあったり、傷が痛いこともありました。が、看護師さんや同じ部屋の人たちに笑顔で挨拶することやお礼を言うことを忘れないようにしようと思いました。そうすると、よく「頑張っているね、可愛いね」と声をかけてもらいました。大変な時ほど笑顔や感謝の気持ちを忘れてはいけないと感じました。

今、私にとって1番幸せなのは、仕事をしている時です。私の仕事は金属を削って加工する仕事です。私といっしょに仕事をする人は実習生も日本人も同僚なだけじゃなくて、仕事の仲間です。注文が多い日は忙しくて大変ですが、皆はいつも笑顔で仕事をしています。会社の社是「まごころ込めたものづくり」のとおり、心をこめて、いい製品を作るために頑張っています。もちろん疲れた時もありますが皆は「頑張ろう、出来るよ」とはげまします。その時私もまた明るくなって、一生懸命仕事が出来ました。忙しくて大変な時でも仲間に「頑張ろう」と声をかければ、皆でいっしょに頑張ることが出来ました。

日本での色々な経験を通して、おばあさんからもらった教訓は本当だと感じています。その教訓のおかげで、日本での毎日は私にとって幸せな日です。たくさんのいい思い出が出来て、あっという間に日本は私の2番目の故郷になりました。私がやってみたことは小さいことでしたが、皆さんから大きい幸せをもらいました。日本にいる間にもっと成長出来るように、これからも同じ気持ちで、小さいことを続けていきたいです。

国	籍	ベトナム
職	種	機械加工
実習実施機関		シバタ精機株式会社
監理団体		福岡素材産業協同組合